

# 空間・社会・地理思想 第1号 (1996)

## 目次

### <論文>

- 地理学と社会的現実 丹羽 弘一 …… 2
- 政治地理学と唯物論  
—政治理論と空間理論の接合に向けて— 中島 弘二 …… 12

### <フォーラム>

- 地理思想史研究委員会の活動  
—特に1995年ダブリンシンポジウムについて— 竹内 啓一 …… 26
- 地政学研究の課題と文献紹介 高木 彰彦 …… 37
- 永遠の振動を続ける学理の弁証法  
デヒアレ  
—わが国のオルタナティブ社会・経済地理学における空間理論と脱構築主義— 水岡不二雄 …… 43

### <翻訳>

- 景観と領域性 クロード・ラフェスタン (遠城明雄 訳) …… 52
- 領域性  
—社会地理学の概念あるいはパラダイム?— クロード・ラフェスタン (遠城明雄 訳) …… 61
- 集合行動と合理的選択  
—場所、コミュニティと個人的利益の限界— バイロン・ミラー (神谷浩夫・香川雄一 訳) …… 68
- 消費者の世界  
—コンテクストとしての場所— ロバート・サック (神谷浩夫・岩瀬寛之 訳) …… 86
- 再編成論と公共サービス研究 スティーブン・ピンチ (神谷浩夫・柴田紀子 訳) …… 110
- 変動する世界における都市地理学 スーザン・J・スミス (水内俊雄 訳) …… 126
- ユートピアとしての女性  
—表象関係を拒んで— ダグマー・ライヒェルト (丹羽弘一・佐藤真江 訳) …… 138